

## 2 家畜衛生対策事業

各種疾病による家畜の損耗防止と生産性の向上を図るため、会議の開催、情報収集と広報、検査・指導等を実施している。

### (1) 監視体制整備事業

#### ア 家畜伝染病防疫対応強化

飼養衛生管理の向上を図るため、会議・研修会や農場巡回により衛生管理を指導

実施内容	実施回数	出席人数/ 実施農場数	対 象
地域推進会議	4 回	188 名	市町、農協、獣医師
衛生管理指導	—	534 農場	畜産農家 への立入検査 ( 乳用牛：151 農場、肉用牛：244 農場 ) 豚：62 農場、家きん等：71 農場、 その他：6 農場

#### イ 家畜衛生関連情報整備

家畜衛生対策及び疾病発生状況等の情報を収集・分析するとともに、農家へ情報を提供

実施内容	実施件数	備考
情報の収集	87 (件)	家畜衛生に関する対策及び疾病の発生状況等の情報の収集
家畜衛生情報提供	68 (回)	家畜衛生に関する対策及び疾病の発生状況等の情報の提供

#### ウ 疾病検査精度管理推進

適正な精度管理体制の構築による検査技術及び検査結果への信頼性の向上を図ることを目的として、診断用検査機器の定期的な校正を推進するため、資器材の整備、精度管理に係る講習会等の開催及び検査業務管理要領、標準作業書による各種検査の実施

##### (ア) 診断用検査機器の定期的な校正

- リアルタイム PCR 検査機器及びサーマルサイクラー機器のキャリブレーション (ヨーネ病、鳥インフルエンザ検査等)
- ビーズ式粉砕器の保守管理
- マイクロピペット類の検定

##### (イ) 研修会等

講習会名	開催日	参集範囲	人数
精度管理研修会	R2. 1. 15 (水)	家保職員	20 名

##### (ウ) 外部精度管理

農研機構動物衛生研究部門によりヨーネ病遺伝子検査、鳥インフルエンザ ELISA 検査並びに遺伝子検査及び豚熱 ELISA 検査について評価

## (2) まん延防止円滑化対策

特定家畜伝染病に関する連絡会議及び防疫演習の実施協力

実施内容	回数	出席人数	備考
口蹄疫・鳥インフルエンザ対策連絡会議	4	144	各農業振興事務所主催 市町、関係機関、関係団体
鳥インフルエンザ防疫演習(地域)	4	146	机上演習(情報伝達)及び実地演習(集合施設、防疫拠点及び消毒ポイント設置・運営等)

## (3) 慢性疾病等生産性阻害疾病対策

生産性阻害が顕著な農場に対し、調査・検査を行い、発生動向を把握。得られた成績をもとに、対策を検討するとともに、疾病防疫マニュアル作成の基礎とした。

疾病名	畜種	調査戸数	調査頭羽数	実施内容
豚胸膜肺炎	豚	1	2,646	発生農場について、飼養密度の改善や消毒槽の適切な利用をはじめとする飼養衛生管理基準の遵守、及び本農場で流行した株に対応したワクチネーションを指導したところ、死亡頭数減少や出荷日齢短縮等の生産性の向上が認められた。
地方病性牛白血病(EBL)	牛	1	41	牧場内に陰性及び陽性牧区を設け、接触しないように牧区間を離すとともに、各牧区にアブトラップを設置し、吸血昆虫対策を併せて実施した。また、抗体陽転牛の早期摘発のため、入牧時、放牧中及び収牧時の検査を実施した結果、陽転する牛は認められなかった。

#### (4) 畜産物安全性確保対策

##### ア 生産衛生管理体制整備事業

畜産物の安全性の確保を図るため、生産現場に HACCP 方式に基づく飼養管理方式を導入するために必要な検査、指導を実施

区分	戸数	対象項目	実施内容
養豚農家	5	農場 HACCP 構築の指導	定期的に各農場における情報の分析及び衛生管理システムの見直し等について指導し、関係者を集めた推進会議(28回)を実施した。
肉用牛農家	1		

##### イ 動物用医薬品危機管理対策

##### (ア) 動物用医薬品の品質検査・指導

流通段階にある不適正な動物用医薬品を排除し動物用医薬品の品質確保を図るため、動物用医薬品等販売業者への立入検査・指導、医薬品の収去・品質確保検査を実施

立入検査・指導		品質確保検査
対象店舗数	実施店舗数	
114	52	医薬品の収去：県央家保1品目 (収去品目：フロロコール5) 検査場所：家畜衛生研究部 検査結果：規格範囲内

##### (イ) 動物用医薬品使用実態調査

動物用医薬品の使用の規制に関する省令に基づく動物用医薬品の畜産物への残留防止を図るため、肉用牛飼養農家4戸について動物用医薬品の使用状況等の実態調査を実施した。各農家とも休薬期間を遵守していた。

##### (ウ) 薬剤耐性菌の発現状況調査

人と動物の健康に対するリスク分析の基礎資料とするために、薬剤耐性菌の発現状況について調査

対象菌種	対象家畜	対象農家数	検体数	検査株数	実施内容	備考
サルモネラ	牛・豚	3戸 (1戸)	4検体 (1検体)	4株 (1株)	各種生化学性状検査及び薬剤感受性試験実施	( ) 管内分
黄色ブドウ球菌	牛・豚 鶏	12戸 (1戸)	13検体 (2検体)	13株 (2株)		